

**第8回 国際学生フォーラム**  
**災害から連帯へグローバルなネットワークの構築にむけて**

2019年2月7日（木）～2月16日（土）

**参加学生募集要項**

本国際学生フォーラムは2011年の東日本大震災を契機に開始され、世界各地より学生を招待、天災や人災などの大災害発生時、世界の若者は何ができるかについて、活発な討論を続けてきました。今年度はそれをさらに発展させ、東アジア、そして世界がともに生きる道を模索します。今回は二度の世界大戦の教訓から半世紀をかけて欧州連合を築いたヨーロッパ、東アジア、そして世界の平和に最も関与してきたアメリカから学生を招き、そこからの学びを得ながら、対立多き東アジアが様々な災難、困難、対立を乗り越え、ともに生きる道を模索します。

また、国際学生フォーラムではこのようなテーマに関する発表、討論、報告のほか、スタディツアーや交流を目的としたワンディツアー等が行われます。

**1. テーマ**

災害から連帯へグローバルなネットワークの構築にむけて

**2. 趣旨と目的**

本フォーラムは日本と世界の大学生がともに過ごしながらか、テーマに関する議論を深めることにより、グローバルな視点からグローバルな課題解決に取り組むことができる人材の育成を目的としています。発表では海外からの参加者は日本語、お茶の水女子大学の参加者は英語で行います。また交流時は日本語、英語に限らず、皆さんが学んできた言語、参加者の出身国の言語を積極的に使用することを奨励します。

**3. 参加条件**

- ・発表や討論等に参加できる日本語能力（N2以上、N1が望ましい）・英語能力を持っていること。
- ・フォーラムのテーマについての事前準備とフォーラム中の発表や討論ができること。
- ・他の参加者と積極的に交流する姿勢を持っていること。
- ・宿泊予約につきましてはこちらで行います。
- ・学部1～4年生（※宿舎の関係上、女子学生を優先します。男子学生については要相談）。

**4. プログラムとスケジュール**

2月7日（木）	チェックイン（国際学生宿舎ほか）
8日（金）	開講式・オリエンテーション・キャンパスツアー
9日（土）	学外活動Ⅰ：スタディツアー（例：都内震災関連施設見学）
10日（日）	発表準備・自由研修
11日（月）	国際シンポジウム1日目
12日（火）	国際シンポジウム2日目・全体討論
13日（水）	学外活動Ⅲ：東京一日ツアー
14日（木）	自由研修
15日（金）	閉講式
16日（土）	チェックアウト

※チェックイン、チェックアウト以外は変更する可能性があります。

**5. 参加費**

- ・参加費：5,000円
- ・宿泊費：無料（全学生）
- ・航空券を含む旅費、海外保険料、生活費等の諸費用：自費
- ・ビザ取得費用：自費（必要な場合）

※参加が決定した学生には、日本学生支援機構（JASSO）より1人あたり8万円の奨学金が支給されます。ただし、JASSOの成績基準を満たした上で、プログラム終了後の「学習成果報告書」の提出、「事後の状況調査」に回答していただく必要があります。

## 6. 募集人数

各大学2名（募集・選考は、下記締め切りまでに各大学でお願いいたします。）

## 7. 申込書類・締め切り

申し込み(Application form)は下記 URL から 2018年11月30日(金) までに行ってください。

URL: <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/v2okol/forum-out2018/view>

※申込みにあたり、下記書類が必要となります。

- ・パスポートコピー
- ・顔写真（ID用、JPG/JPEG/TIF ファイルで提出してください。）
- ・応募動機書（A4で1枚、書式等は自由、日本語で書いてください。）
- ・成績証明書
- ・旅行計画表(Flight Information)は **11月20日**以降に、申込完了後にご連絡をする専用 URL からお送りください。
- ・海外旅行保険証書コピー添付が必要となります。各自で加入してください。

## 8. 発表について

フォーラムに参加する方は、以下の発表の準備をしてきてください。

内容：

地震、台風、洪水、酷暑、山火事など、世界各地で様々な災害が起こっています。日本でも最近、東日本大震災、西日本豪雨など、様々な災害に見舞われていますが、そのような時には、常日頃対立がありながらも、海外から多くの義援金が送られる姿を目にすることができました。国を超え、過去を超えたこのような連帯や協力が災害時だけではなく、常日頃から行うことはできないのでしょうか。

本フォーラムでは、未来を担う若者が集い、東アジアが、そして世界がともに生きる道を模索します。

今回は東アジア3か国、欧米4か国の学生が集います。

ヨーロッパからの学生たちには、二度の世界大戦という惨禍から半世紀かけて欧州連合を築いた様々な教訓を元に東アジアがともに生きるための提言をしていただければと思います。アメリカからの学生には、これまで東アジア、そして世界の平和に最も関与してきたアメリカの立場から、東アジアの共生を語っていただきます。

また東アジアからの参加者の皆さんは、ヨーロッパの共同体建設などからも学びを得ながら、対立多き東アジアがこれから、様々な災難、困難、対立を乗り越え、ともに生きる道を提言してください。

ヨーロッパと東アジアの学生が学びあいながらともに生きるための話し合いを行いながら、世界がともに生きるための知恵を得、連帯の輪を築いていきたいと思います。

方法：

- ・同じ大学の参加者2名で1本の発表を日本語で行います。
- ・発表時間は1グループ30分（発表20分、質疑応答10分）
- ・発表要旨は1月20日までにメールでお送りください。
- ・発表資料はパワーポイントを用意してください。

## 9. その他

- ・航空券は参加決定後に各自で手配してください。
- ・必ず海外旅行保険に各自加入してください。
- ・中国国籍の学生は「短期滞在査証（ビザ）」の申請が必要です。
- ・日本入国査証が必要かどうかは、<http://www.mofa.go.jp/toko/visa/>でご確認ください。必要な学生には追ってメールにて本学がフォーラム期間中の日本滞在期間のみ身元保証人となる旨をお伝えします。
- ・宿舎で食事の提供はありません。宿舎へのチェックインは7日（木）、チェックアウトは16日（土）です。これより前、後の宿泊は各自でご用意ください。

## 10. 海外参加予定大学

ワルシャワ大学（ポーランド） ストラスブール大学（フランス） ボン大学（ドイツ）

同徳女子大学校（韓国） 釜山外国語大学校（韓国） 大連理工大学（中国） ヴァッサー大学（米国）

## 11. お問い合わせ

お茶の水女子大学国際教育センター 井上貴恵、長塚尚子

Email: info-forum@cc.ocha.ac.jp Tel: +81-3-5978-5913

